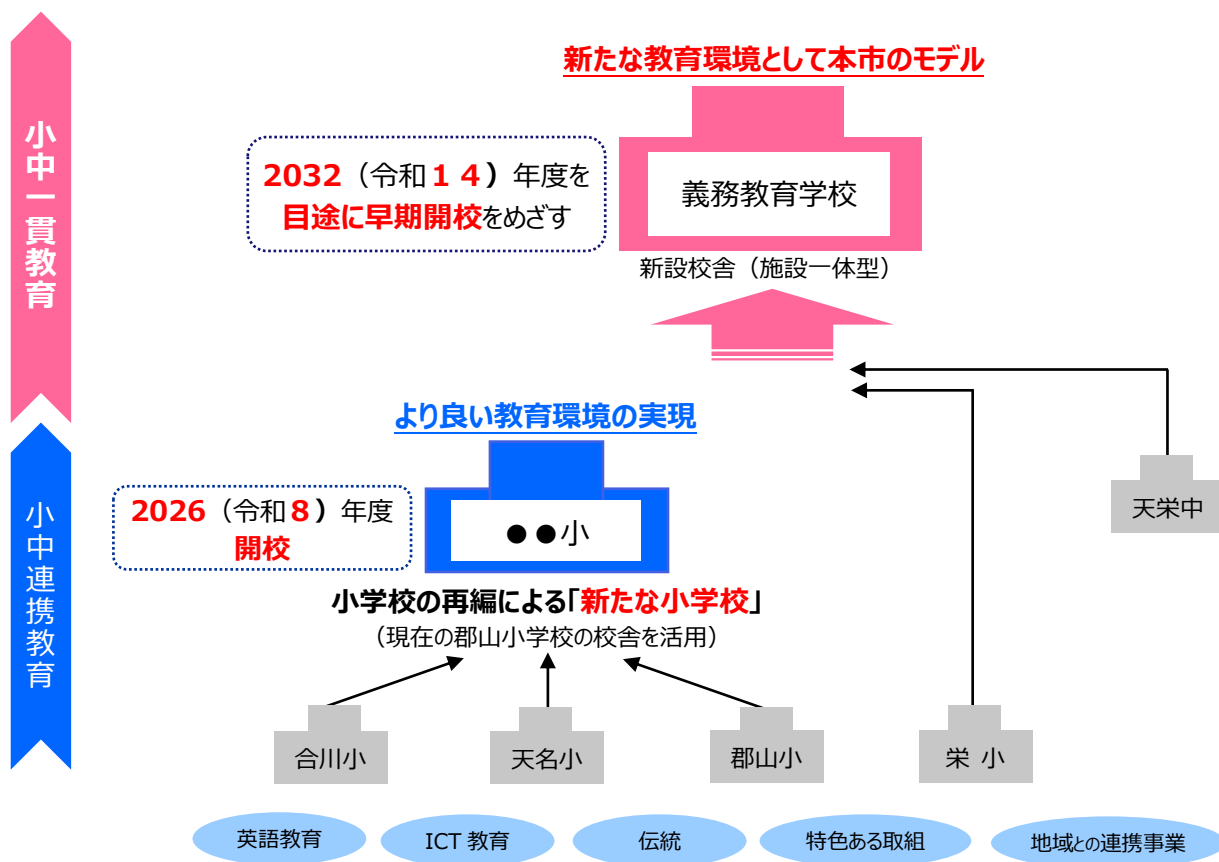


天栄中学校区における学校再編計画

2023（令和 5）年 12 月 策定



「義務教育学校」 の設置について

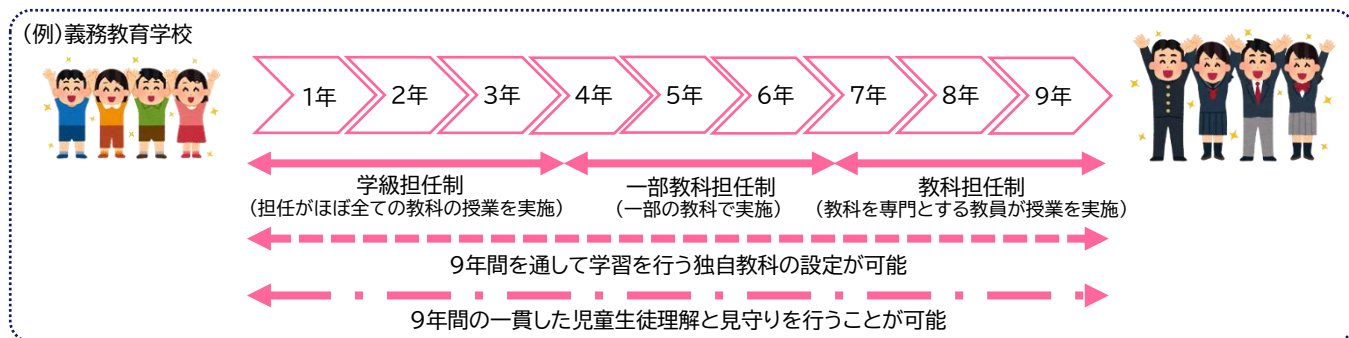
本市のモデル校ともなる新たな教育環境を創造するため、義務教育の 9 年間の教育課程を見据えた「義務教育学校」の設置に向けた考え方を示します。

「新たな小学校」 の開校について

「義務教育学校」の設置までの期間に、合川小学校で 2024（令和 6）年度、天名小学校で 2026（令和 8）年度に発生する見込みである複式学級に対して、より良い教育環境を提供する必要があることから、今後の小学校のあり方を示します。

◆「義務教育学校」開校に向けた考え方

- これまで小学校・中学校の各中学校区における連携を重点取組とし、教育活動を推進してきた。
- 今後、小学校 6 年間、中学校 3 年間の枠組みにとらわれない、**9 年間の一貫した系統的な教育課程、指導体制を構築する。**
- 「小中一貫教育」を実施する上で、「義務教育学校」は、柔軟な学年段階の区切りの設定が可能であり、**発達段階に応じた教育課程を編成できるため、より効果的な教育活動を実現することができる。**
- 市内どこからでも通学を可能とする「特認校」を想定して検討する。



◆「義務教育学校」開校に向けての課題

- 小中一貫教育の実施に当たっての基本的な考え方を整理する。
- 栄小学校の児童が、「義務教育学校」での新たな人間関係の構築を円滑に行い、安心して学校生活を送ることができるよう、**天栄中学校区内での校区連携**をこれまで以上に深めるなど、**継続的な取組を実施する。**
- 現在、通学区域の弾力化※の取組の一環で、稲生小学校区の児童生徒を対象に天栄中学校への就学を認めており、各学年の生徒数の 3 割から 4 割程度を占めている。義務教育学校の特認校制度の制度設計を検討する際に、**これまでの通学区域の弾力化の取組内容を踏まえた運用とする。**

※特定の地域に在住する児童生徒について、一定条件の下、指定校以外の隣接する学校への就学を認める制度。本市では、過大規模校又はそれに準じる大規模校対策として、2016(平成28)年度から、旭が丘小学校及び白子中学校で実施している。

◆より良い教育環境の実現に向けて

		2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	2027 (R9) 年度	2028 (R10) 年度	2029 (R11) 年度	2033 (R15) 年度	2035 (R17) 年度	2038 (R20) 年度	2043 (R25) 年度
合川小学校	普通学級児童数	69	68	60	56	52	50	54	60	54	53	49
	学級数	6	5	5	5	4	5	5	6	6	5	5
天名小学校	普通学級児童数	74	68	63	66	61	53	48	51	47	40	38
	学級数	6	6	6	5	5	5	5	5	4	4	4
栄小学校	普通学級児童数	150	143	133	122	111	113	103	124	124	109	91
	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
郡山小学校	普通学級児童数	176	167	164	172	162	155	142	147	149	129	109
	学級数	6	6	6	7	7	7	7	6	6	6	6

- 合川小学校では 2024（令和 6）年度に、天名小学校では 2026（令和 8）年度に複式学級が発生するとともに、その状況は今後も継続すると見込まれている。
- 学校の小規模化に伴う学校運営上の課題や児童に与える影響を解消することで、児童一人ひとりの可能性を最大限に引き出すことができる**より良い教育環境を提供する**視点を主眼に置いて、学校の再編を行う。

◆「新たな小学校」開校に向けて

- 合川小学校及び天名小学校の2校に郡山小学校を加えた3校で学校再編を行い、2026（令和8）年4月に「新たな小学校」を開校する。
- これまで3校で培われてきた取組を継承し、先進的な教育を実践する学校をめざす。
- 「新たな小学校」で構築された教育環境や得られた知見を生かして、円滑な「義務教育学校」への移行につなげていく。



◆「再編計画」策定後の取組

○令和6年1月より、下記の会合において再編計画について説明。※カッコ内は参加人数

1月5日 計画説明会

※合川・天名・栄・稲生地区自治会長（23名）

6日 天名小学校PTA委員会（11名）

12日 栄小学校PTA委員会（13名）

19日 郡山小学校PTA役員会（12名）

22日 合川小学校PTA役員会（4名）

26日 学校再編計画に関する合川地区懇談会（14名）

※自治会長8名、学校運営協議会4名、PTA会長、市議会議員

○スクールバスについてアンケート調査を実施。

スクールバス運行に対し、保護者の意向を確認するため、アンケートを配付。

対象：①保護者 合川小学校（児童数71名 57世帯）

天名小学校（児童数79名 58世帯）

②合川・天名小学校区に居住する未就学児の保護者

合川小学校（未就学児数64名 43世帯）

天名小学校（未就学児数52名 40世帯）

回答方法：2月14までに、学校に回答書を提出するか。インターネットで専用フォームにアクセスし回答。

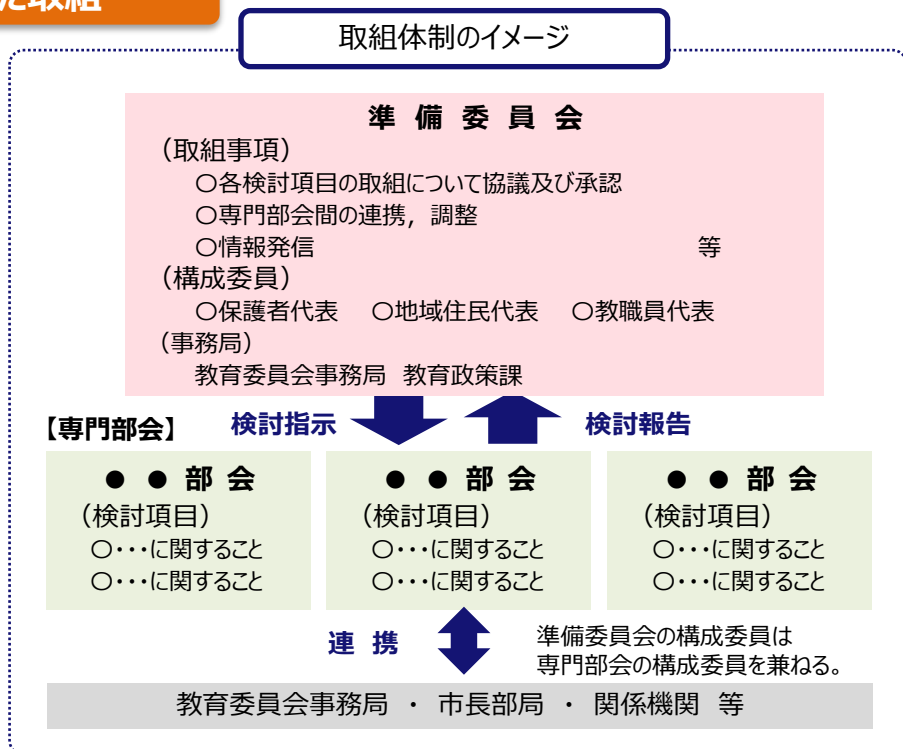
設問内容：・自宅から停留所までの距離（時間）について

・運行に伴い懸念される点 等

◆「新たな小学校」開校に向けた取組

○「新たな小学校」の開校に向けて、
2024（令和6）年4月を目途に、
保護者や地域住民、学校再編に関
わる学校関係者、教育委員会事務
局の関係部署で構成される**準備委員
会**を立ち上げる。

○準備委員会では、検討項目に応じて
検討に関わる主体を整理の上、適切
かつ迅速に進めていくため、**専門部会**
を設置する。



◆準備委員会での主な検討項目

育む力に関する事
先進的な教育に関する事
児童の交流や地域連携活動に関する事
今後の通学路の安全確保に関する事
スクールバスの運行に関する事
校名・校章・校歌等に関する事
児童が使用する学用品等に関する事
PTA 組織体制や活動内容等に関する事
記念行事に関する事
施設整備に関する事
跡施設に関する事

- ・・・非認知能力の育成につながる教育など
- ・・・先進的な教育、教育 DX（デジタル・トランスフォーメーション）、グローバル教育など
- ・・・合同行事や教育 DX による学校間の連携事業、地域連携活動など
- ・・・危険箇所の点検、安全上の検証など
- ・・・対象エリア、運行ルート、停留所など
- ・・・3 校の歴史や伝統、地域性、思いを踏まえた校名・校歌・校章など
- ・・・制服や体操着、その他学用品など
- ・・・P T A の組織体制や考え方、活動内容など
- ・・・閉校式、開校式など
- ・・・安全に公平で最適な教育を受けることができる施設整備など
- ・・・小学校の校舎、運動場、屋内運動場の活用など

◆情報発信の取組

- 鈴鹿市教育委員会のホームページに学校再編に係る内容を掲載。
- 教育委員会のホームページには、二次元コードを読み込み、アクセス可能。
- 「教育委員会からのお知らせ」の発行による、保護者、地域への情報提供を実施。